

イタリアの名門ピアノ音楽院へ通ずる第一歩 “今までになかった画期的なピアノオーディション”開催



フィウツィ先生のレッスン風景



日本の若手音楽家や子ども達の育成を目的としたピアノオーディション「第1回 イモラ国際ピアノオーディション in JAPAN」が開催。予選は5月3日～24日に宮城や兵庫など5都市で、本選は5月31日～6月1日まで東京で行われる。

これは世界的に有名な音楽院「イモラ国際ピアノアカデミー(巨匠との出会い)」の卒業生でもあり、今回のプロジェクトの音楽監督である横山緑氏のアイデアの元、実現される日本でのオーディションや公開レッスン、セミナー等のことで、「10年に渡りイタリアで経験してきた実体験を、是非日本の子供達や学生達に経験してもらい、各々の音楽能力を更に深めてもらいたい」という思いが始まりました。

日本でのオーディションでは、本選に進み選抜された上位受賞者がイモラ国際ピアノアカデミー

(巨匠との出会い)主催の今年の「イモラ・サマーフェスティバル」へ招待される。

このフェスティバルは7月18日～30日までの約2週間、世界中から約130名の参加者が共に生活し、名教授のレッスンや、コンサート出演、コンクールなどに参加できる減多に経験できない充実した体験ができる音楽祭となっている。

日本オーディションの協力している株式会社イハラ楽器・代表取締役社長の庵原豊治氏は「ただひたすら課題の技術的な面ばかりを追うのではなく、その作品の奥にある作曲家からのメッセージが何かということを追及し、表現を深めて

いくことが大事です。それには様々な経験がある現役音楽家から直接受けるレッスンなど本物に触れることが必要になってきます。そんな機会を設けることができるこのオーディションは画期的だと思います」と語る。既に関連イベントとして「ステファノ・フィウツィ教授による公開レッスン」が予選期間内に神戸市のイハラ楽器店内サロンにて開催されることとなっている。神戸予選の締切は4月12日まで。

詳細は公式HP <http://imolapianoaudition.jp>